

CAMPUS LIFE

臨地実習!

2年生

成人・老年実習終了



記録提出前の学生の様子①(小海分院にて)



12月は学内での実習になった成人・老年実習ですが、今回は臨地実習をさせていただきました。実習場所は佐久総合病院本院・佐久医療センター・小海分院・厚生連鹿教湯病院と4か所にわかれています。鹿教湯病院は、学校より遠方のため、学生たちは実習期間中病院の寮に滞在して生活していました。

学生たちは夏の基礎Ⅱ実習以来の臨地実習であり、学内実習であった12月とは違い、電子カルテや患者さんから情報収集をしていきました。



グループメンバーも6～8人と多く、病院全体がコロナ禍で忙しい業務の中、病棟の指導者さん、スタッフのみなさんは、学生に丁寧に教えてくださいました。

鹿教湯病院から実習を終えて戻ってきた学生たち



※写真右は2週間滞在に必要な荷物の一部です。
(健康管理センターのご協力のもと学生の送迎を行いました。)

普段自宅から通学している学生の中には、長期滞在している中で、ご家族の有難みが身に染みたと意見や、滞在中、ご家族との電話での会話中に涙が出てきたという意見もありました。皆さん本当に貴重な経験ができましたね(^^)！

学内実習とは違い、患者さんと関わる中で必要な看護を理解していくことができ、自分たちになにができるかしっかり考え、笑顔で関わっている姿に臨地実習ができ、本当に良かったと思いました。実習の経験は、看護師になっても忘れられないものになります。私も学生時代に関わった患者さんはいまだに覚えています。



学生は、看護過程の記録で睡眠不足の日々ではありませんでしたが、実習初日と最終日を比較すると知識面でも、技術面でも全く違い、成長する姿をみることができました。学生のみなさん実習お疲れ様でした。

今後の実習は3年生の領域実習になります。今までと違い、毎月実習していくようになっていきます。事前学習から大変ですが、看護師になるために必要な過程です。時間を有効に使っていきましょう。